

No.	15-2-1	場所	高森町 大沢川 (天竜川合流点付近)	次世代への継承キーワード
名称	大沢川の氾濫状況			災害現象理解
災害現象	洪水氾濫	河川	大沢川	
補足事項		支流		

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：高森北中学校 2 年生

<6月27日夕方、大沢川では>どこの家の人達も、自分の家の田や畑を守るために一生懸命になって、水を防いでいる。鉄しんで竹をつないで川の中へ入れている人、竹を運んでくる人、皆真剣な顔をして作業をしている。水はこんなもろい堤防なんかというようにぶつかってくる。川は嵐のように、『ごうごう』と、音を立てて流れている。**人の力では動かせないような大きな石が、川の底の方を『がらんがらんごつんごつん』と、ものすごい、いきおいで押し流されていく。**(中略) 午前三時ころだったが、お父さんが『もうだめだ』といって家にとんで帰ってきた。今までふせいでいた所を水がのり越えてきたから、ふせいでももうだめだ、といった。(中略)<翌朝>僕はすごく驚いた。きのうまでは、青々とした緑一色に包まれていた田んぼは、一夜のうちに泥海と化してしまっていた。

(「語り継ぐ災害の記録」p.272)

記 録



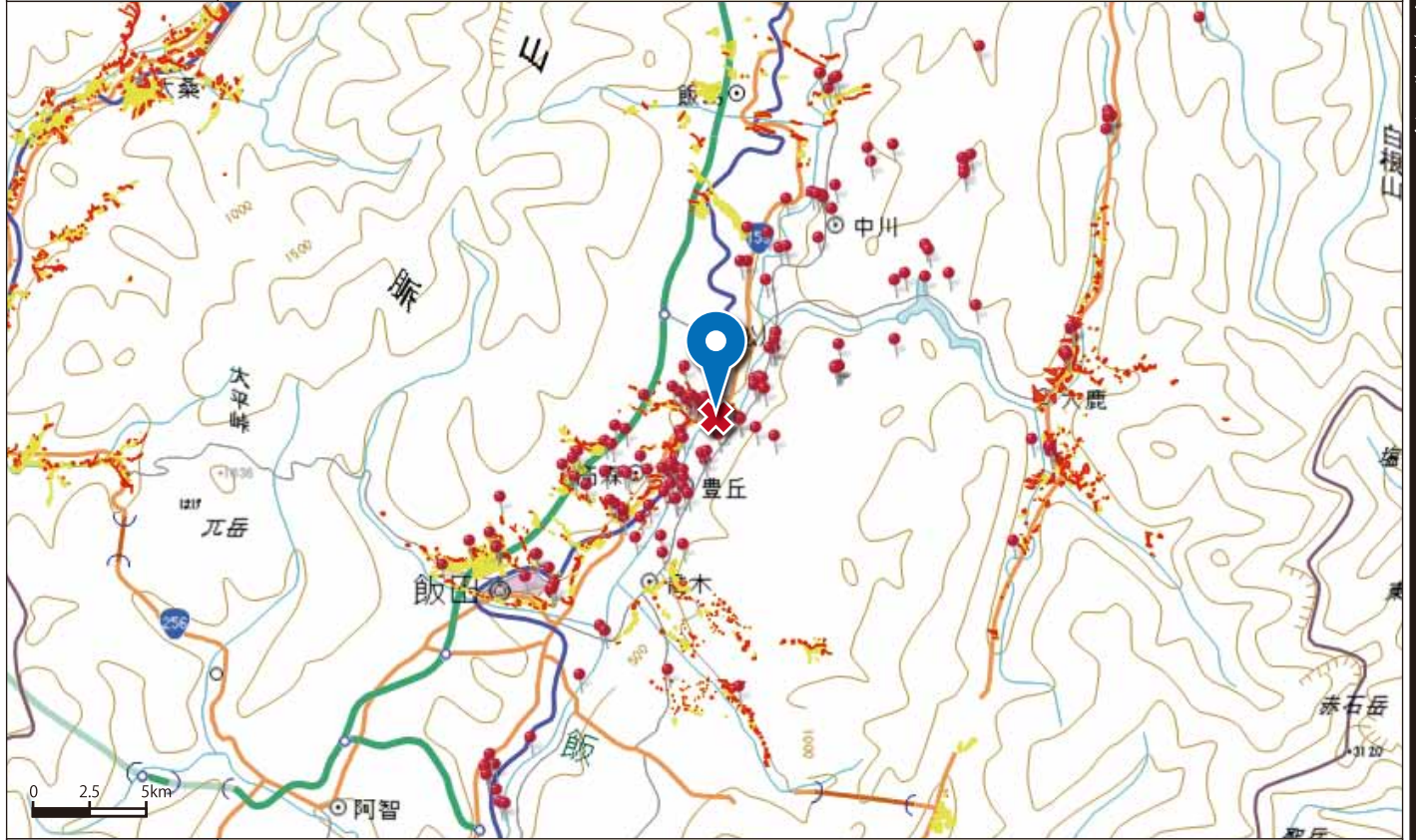
大沢川の氾濫状況。手前が大沢川、奥の白い線が天竜川。

出典	「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.42/「語り継ぐ災害の記録」p.272		
備考	概要欄の< >は編者が補足説明したものです。		

No.	15-2-1	場所	高森町 大沢川 (天竜川合流点付近)	緯度	35.573025
-----	--------	----	--------------------	----	-----------

名称	大沢川の氾濫状況	経度	137.903867
----	----------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。